

平成19年度 三田こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	三田こども文化センターの管理運営に関すること 三田小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目		平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況			
施設の運営に関する職員体制に関すること	施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
	施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	運営協議会・こ文子ども会議（小学生の部、中学生の部）・わくわく子ども会議・保護者会等を通じて意見を募り、それを行事等に反映させた。また、親子での来館が多いため、日頃の保護者とのコミュニケーションを通じ、地域の方のニーズを掴むよう努力した。さらには、夏祭り、もちつき大会で、地域の方を集め、その場での意見を様々な形で館の運営に生かした。来館者のために、館に意見箱を設置した。また、利用団体向けには、報告書に意見を記入できる欄を設けた。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
	サービスの提供に関すること	日常の清掃と整理整頓、そして利用時の声かけと子ども達へのルールの徹底を館全体で取り組み明るく清潔で、使いやすいこども文化センターを目指した。今年度になり乳児さんの保護者からの提案で、新に遊戯室を乳幼児優先室にし、小中学生は、乳幼児が来たら部屋を譲ることとした。また、衛生上遊戯室での飲食は保護者がいる時だけとし、小学生の飲食は、他の部屋で行なう事とした。また、遊戯室の遊具の消毒も定期的に行なった。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、2つのクラブ活動を実施し、事業の充実に努めていた。

事業の実施に関する こと	子ども達のニーズに合わせ、映画会、工作、おやつ作りをほぼ毎月行った。書き方クラブ、図工クラブは、より多くの子どもが関われるように、月2回実施で、半年を区切り前半後半の募集をかけた。また、親子工作は、回数を増やし、土曜日に開催した。日頃利用している幼児サークルや小学生も親子で工作を楽しんでくれていた。また、児童健全育成財団からの助成金で「エコクラキッズ」を立上げ、エコに関する工作や上級生の指導で下級生が教わるなど、エコについて学ぶ環境が出来つつある。さらに、保育園との連携により親子で遊ぼうを月1回開催し、ロコミにより参加者が増えてきている。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。また、指定管理料以外の助成金を活用した行事を実施し、事業の充実を図っていた。今後も、ボランティアの活用に努めること。
個人情報の取扱に関する こと	アスクル申込書・アスクル名簿・わくわく申込書・わくわく名簿・子支援申込書・子支援名簿・行事申込書・スポーツ保険申込書・パソコン利用申込書・入館表・運営協議会名簿・職員名簿（緊急連絡表）・その他、パソコンに入力しているものは、パスワードを付け、紙ベースのものは、カギのかかる書庫に入れて保管している。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関する こと	施設の不備をなくすように修繕に力を入れ、扉の不具合や壁の穴などの修繕を行い、より安全で使いやすい施設になった。また、研修を実施し、職員全員が共通した意識を持てるように配慮した。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。
(2) 利用状況		
①こども文化 センター	延べ利用者数 29,774人 延べ団体利用数 6,703団体 (主な行事等) エコクラキッズ こ文まつり (特色のある行事) お金☆ゲーム～目指せお小遣い名人！	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 三田小学校わくわくプラザ 登録者数 208人 延べ利用者数 8,689人 (主な行事等) わいわいタイム 腹話術 (特色のある行事) 三田ボラ隊	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況	(単位：円) <table> <tr> <td>収入</td><td>指定管理料</td><td>31,040,826</td></tr> <tr> <td>支出</td><td>人件費</td><td>28,608,693</td></tr> <tr> <td></td><td>管理費</td><td>2,515,268</td></tr> <tr> <td></td><td>事務経費</td><td>1,291,898</td></tr> <tr> <td></td><td>その他経費</td><td>1,436,042</td></tr> <tr> <td></td><td>青少年事業資産取得支出</td><td>909,090</td></tr> <tr> <td></td><td>減価償却引当資産取得支出</td><td>40,492</td></tr> <tr> <td></td><td>第1回精算に伴う返納金</td><td>636,363</td></tr> <tr> <td></td><td>合計</td><td>35,437,846</td></tr> <tr> <td>差引</td><td></td><td>▲ 4,397,020</td></tr> </table>	収入	指定管理料	31,040,826	支出	人件費	28,608,693		管理費	2,515,268		事務経費	1,291,898		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		合計	35,437,846	差引		▲ 4,397,020	臨時職員賃金の増等により単館では支出が上回ったが、55館全体での指定管理料内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。
収入	指定管理料	31,040,826																														
支出	人件費	28,608,693																														
	管理費	2,515,268																														
	事務経費	1,291,898																														
	その他経費	1,436,042																														
	青少年事業資産取得支出	909,090																														
	減価償却引当資産取得支出	40,492																														
	第1回精算に伴う返納金	636,363																														
	合計	35,437,846																														
差引		▲ 4,397,020																														

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。